

コロナにまけない 新しい地域福祉活動をすすめましょう

新型コロナウイルスによる感染症は、一時は極めて緊迫した状況となりました。5月に緊急事態宣言が解除され、それまで中断していた校区社協や地域のボランティアによる地域福祉活動は、6月以降徐々に再開されつつあります。



今後は、国が提唱している「新しい生活様式」に沿いつつ、感染予防対策に十分配慮し、メールや電話、インターネットなどの活用により、接触を避けながらできる声かけや見守り、交流など、みんなでアイデアを出し、新しい地域福祉活動をすすめましょう。

食品寄付でコロナ支援

田主丸町にある酒見食品工業株式会社様(代表:酒見紀宏様)より、社会貢献活動の一環として、白米60キロをいただきました。

また、市と市社会福祉協議会の職員によるフードドライブ活動を2日間実施し、インスタント食品、缶詰、レトルト食品や米などが約265キロ集まりました。

いただいたお米や集まった食品は、お困りの人たちや子ども食堂等にお渡ししました。

市社会福祉協議会では、皆様の家庭で眠っている賞味期限前(1か月以上余裕がある)、未開封食品の寄付を受け付けています。

食品を捨てずに寄付することで、食品ロス削減にもつながります。まずは、ボランティアセンター(0942・34・3035)までご相談ください。



みんなの想いが集まって

新型コロナウイルスの影響により日々の生活が大きく制限をされるなか、困っている人を少しでも支援しようと取組みをされた人たちもいます。

いくつかの校区では、感染予防のためのマスクを自分たちで手作りし、必要な人に届ける活動を工夫しながら実践されました。



日吉校区ふれあいの会による手作りマスク

相談はお早めに 生活福祉資金特例貸付

本会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により生活資金でお悩みの人に向けた、特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の相談窓口を開設しています。お問合わせや貸付のご相談は、下記の専用電話へお願いします。

問合わせ 市社会福祉協議会

専用電話 0942・34・3122
080・1539・3864

受付時間 月～金曜日(祝日を除く)
9:00～16:00

※電話による相談が難しい場合は①お名前②希望する連絡手段(FAX、Eメール等)を記入し、FAX0942・34・3090へ送信してください。

『布マスク』のご寄付をお受けいたします

全世界を対象にした政府による布マスクの配布が行われています。

マスク不足問題については、既製品の供給が進み、以前に比べると購入しやすい環境が整ってきておりますが、依然として購入することができずに1枚の布マスクを繰り返し使用している人もいます。そのようななか、『既にマスクを確保できているから寄付したい』との声がありました。そこでボランティアセンターでは布マスクバンクを新設して、布マスクを寄付いただき、地域で福祉活動をしているボランティア団体等にお配りしています。

寄付したいとお考えの方は、ぜひご協力をお願いします。

対象となるマスク 政府が全戸配布したマスク
(未開封の物)

寄付の方法 市社会福祉協議会ボランティアセンター(長門石1丁目1番34号)宛てに郵送又は市社協及び4支所・みんくる・くるめウスマで持参ください。

※郵送費用はご寄付者負担となります。

